

2018年度経営概況

2018年度のふりかえりと今後の取組み

IHI GROUP

明星電気株式会社 
2019年5月

期初計画対比：受注は目標達成、売上は大幅未達、営業利益も未達

受注確保施策：大規模更新確保○、新規市場開拓○、宇宙受注回復×

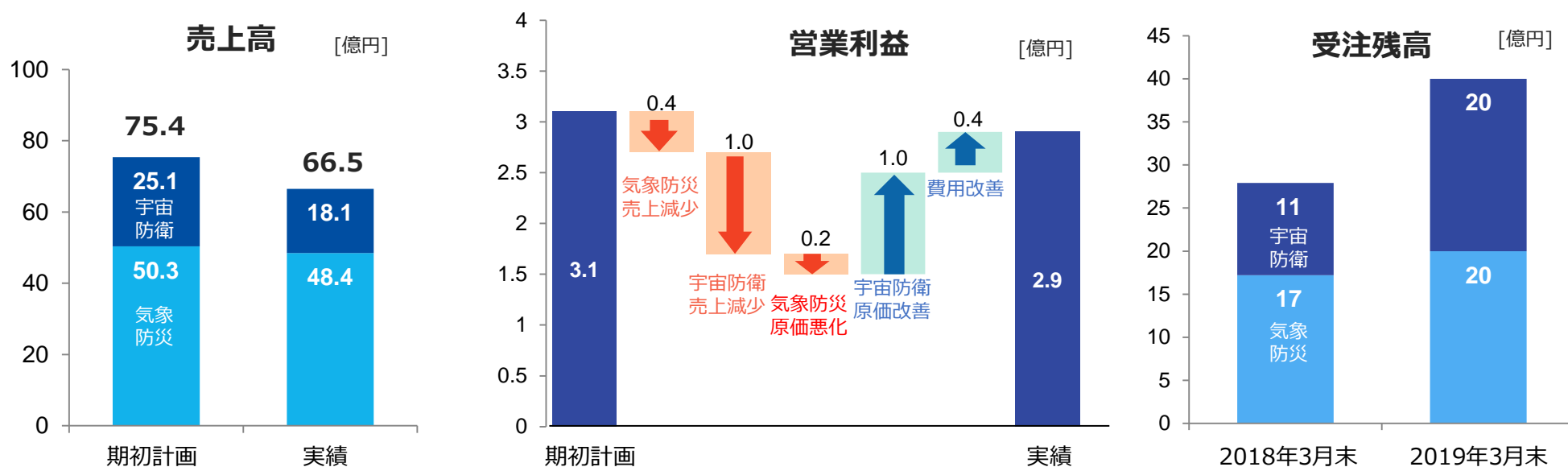
収益改善施策：遂行能力強化（原価悪化減）◎、リソース効率活用（固定費減）○

① 気象防災分野は、売上高が前年比で大幅回復、営業利益は売上減と原価悪化で未達

- ・大型更新需要が回復の兆し、気象庁津波地震計・新幹線向け地震計を確実に受注
- ・ダム放流警報装置、国交省危機管理型水位計など水管理の更新・新規案件が好調
- ・地方整備局・NEXCO殿の大型案件をプライム受注し工事経験を蓄積

② 宇宙防衛分野は、売上高が大幅な未達、営業利益は売上減あるも原価改善でカバーし達成

- ・売上はお客様の計画延期で大幅悪化、受注は消費税駆け込みで年度末に目標達成
- ・リスク管理の徹底と検査段階案件の減少で利益率が改善



製品競争力強化と未開拓市場への拡販を軸にマーケット展開
お客様との共創により さらに安心と安全に資する製品に進化

▶ 気象観測システム

- ・ 高層ゾンデiMS-100をGRUANが技術認証
- ・ 道路の安全を確保するための気象装置を大型受注



ゾンデiMS-100とGRUAN技術認証
(気象変動監視用高精度の証)



NEXCO殿向け気象観測装置

▶ 水関連システム

- ・ 国土交通省
危機管理型水位計を開発・納品
- ・ 地方整備局・電力会社向け
放流警報システムの受注好調



放流警報装置更新中の加古川大堰



危機管理型水位計

▶ 地震観測システム

- ・ 新幹線向け地震観測装置の更新が本格化
- ・ 緊急地震速報PLUM法対応版の出荷が本格化



PLUM法対応
緊急地震速報受信ユニット

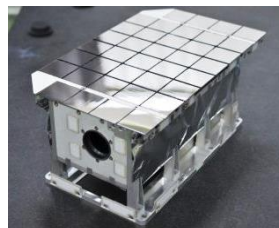
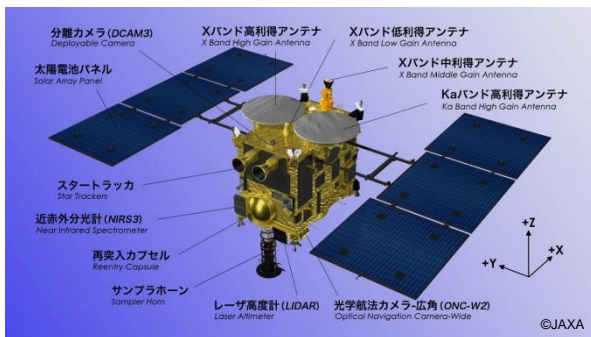


新幹線で活用中の地震計

明星の衛星搭載装置が 話題となった発見や実証に貢献 将来の成長につながるオンリーワンの製品整備も進展

▶衛星搭載機器

- ・「はやぶさ2」 近赤外分光計：水を発見
分離カメラ：噴出物撮影成功



近赤外分光計



分離カメラ

▶小型衛星システム

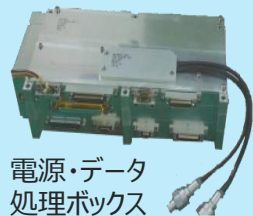
- ・小型衛星向け高速Xバンド送信機を市場投入



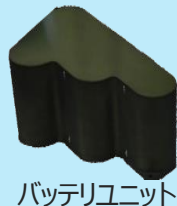
▶宇宙ステーション搭載機器

- ・小型回収カプセルが無事帰還

小型回収カプセル 担当機器



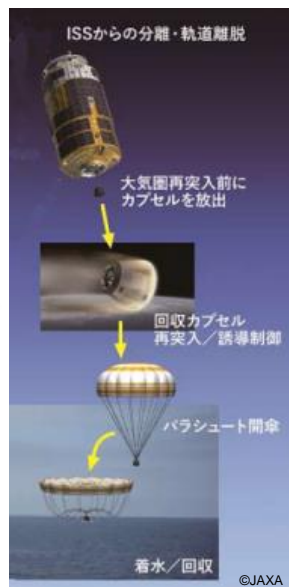
電源・データ
処理ボックス



バッテリーユニット

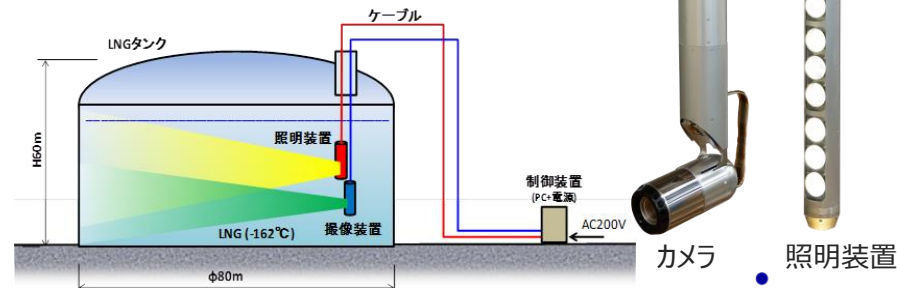


DC/DCボックス



▶宇宙技術の地上転用

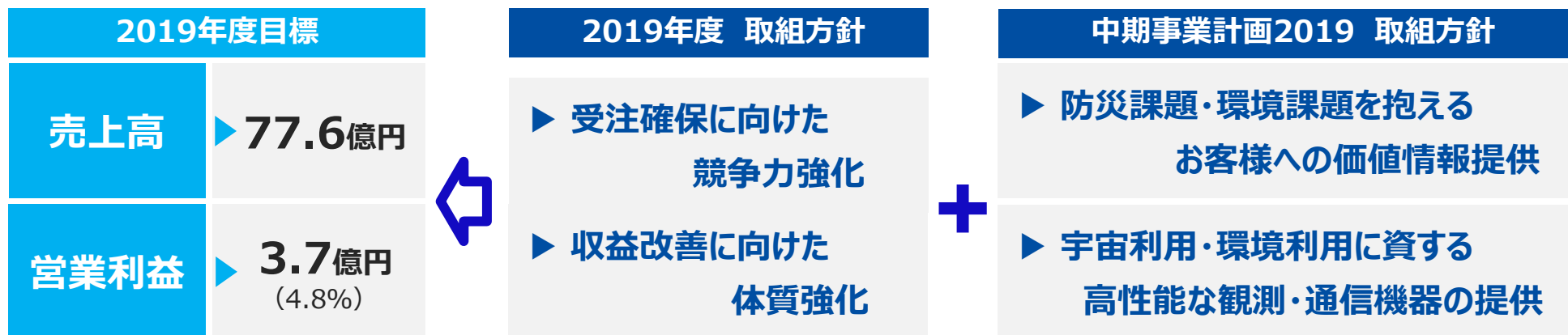
- ・LNGタンクカメラを市場投入



カメラ 照明装置



2019年度の事業目標と達成に向けた取組み



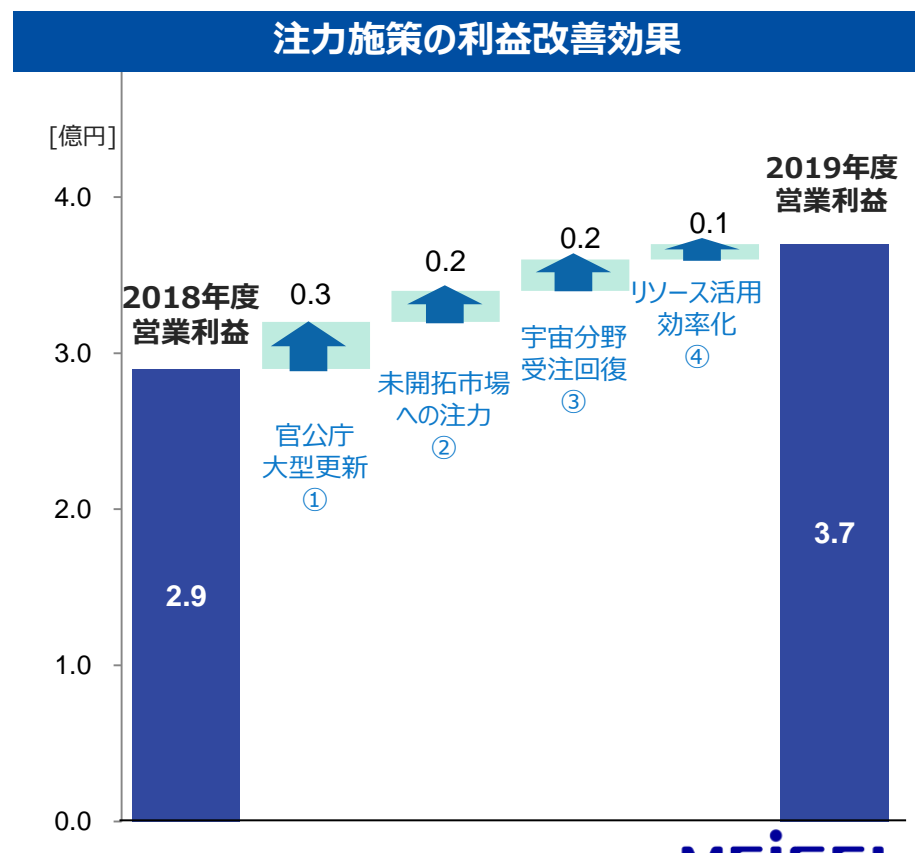
2019年度 注力施策

[受注確保に向けた競争力強化]

- **官公庁の防災大規模更新の必注** ▶ ①
製品競争力強化と戦略的アプローチで必注
- **優位性ある防災未開拓市場への拡販** ▶ ②
地域別・製品別の営業組織で応札数を拡大
- **宇宙分野の受注回復と利益確保** ▶ ③
受注の早期確保と案件リスクの事前排除

[収益改善に向けた体質強化]

- **プロジェクト遂行能力の強化** ▶ (損失抑制)
QCDリスク対策 (受注前後・月次の継続・強化)
不具合教訓に基づく再発防止策徹底 (特にソフト)
- **リソース活用の効率化徹底** ▶ ④
内製化・多能工化・生産性向上による操業度向上
原材料の回転率・設備の稼働効率の改善



IHI GROUP

Realize your dreams

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。したがって、さまざまな要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。